

令和3年度工事

部長

課長

担当課長補佐

主任

設計

## 啓成小学校校舎棟改築建築主体工事

工事場所 : 米子市博労町四丁目290番地

工期 : 契約日～ 令和4年8月31日

金 : 円

( 工事価格 : 円 )

( うち消費税 : 円 )









一般工事									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
土工		1		式					
地業		1		式					
鉄筋		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
防水		1		式					
石・擬石		1		式					
タイル		1		式					
木工		1		式					
屋根及びとい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
木製建具		1		式					
金属製建具		1		式					
硝子		1		式					
塗装		1		式					
内外装		1		式					
仕上およびユニット		1		式					
	計								









一般工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	既製コンクリート杭地業	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
防水		1	式		
計					
石・擬石		1	式		
計					
タイル		1	式		
計					
木工		1	式		

一般工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
木製建具	内部木製建具	1	式		
木製建具	トイレブース	1	式		
計					
金属製建具	アルミ製建具	1	式		
金属製建具	シャッター	1	式		
金属製建具	鋼製建具	1	式		
金属製建具	軽量鋼製建具	1	式		
金属製建具	学校間仕切	1	式		
金属製建具	アルミパーティション	1	式		
金属製建具	鋼製三方枠	1	式		
金属製建具	木製建具三方枠	1	式		
計					
硝子		1	式		













一般工事		土工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	総掘り 法付オフソカット	65	m3			
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	1,985	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	252	m3			
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ350~600mm	84	本			
床付け	つぼ, 布掘り	863	m <sup>2</sup>			
床付け	総掘り	36	m <sup>2</sup>			
積み込み	杭残土	777	m3			
場内仮置き	杭残土 場内運搬共	777	m3			
積み込み	場内仮置き土 (杭残土)	777	m3			
埋戻し(B種)	杭残土	777	m3			杭残土利用
埋戻し(A種)	- 山砂の類	308	m3			
積み込み	発生土	2,050	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 土砂 22.5km以下	2,302	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						





一般工事		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
異形鉄筋	SD295A D10	106	t			
異形鉄筋	SD295A D13	183	t			
異形鉄筋	SD295A D16	2.2	t			
異形鉄筋	SD345 D19	13	t			
異形鉄筋	SD345 D22	50	t			
異形鉄筋	SD345 D25	117	t			
異形鉄筋	SD345 D29	5.9	t			
鉄筋運搬費	10 t 車 30km程度	465	t			
鉄筋加工組立	RC7-ノ構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	465	t			
スクラップ	H2	▲13	t			
鉄筋ガス圧接	D19 -D19	82	か所			
鉄筋ガス圧接	D19 -D22	2,258	か所			
鉄筋ガス圧接	D25 -D25	3,475	か所			
鉄筋ガス圧接	D29 -D29	142	か所			
梁貫通補強	100φ以下 材工共	81	か所			
梁貫通補強	200φ以下 材工共	131	か所			
梁貫通補強	300φ以下 材工共	1	か所			
計						

一般工事		コンクリート				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	捨てコンクリート 18-15-20N	39				
普通コンクリート	基礎部 27-15-20N 構造体強度補正S+3	875	m3			
普通コンクリート	基礎部 24-15-20N 構造体強度補正S+3	21.7	m3			
普通コンクリート	躯体部 27-15-20N 構造体強度補正S+3	2,051	m3			
普通コンクリート	躯体部 24-15-20N 構造体強度補正S+3	21.2	m3			
普通コンクリート	土間 24-15-20N	36.9	t			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	39	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 100m3/回以上 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	875	m3			
コンクリート打設手間	躯体部 ポンプ打設 100m3/回以上 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	2,051	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	36.9	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	21.7	m3			
コンクリート打設手間	躯体部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15～S18 標準階高 圧送費、基本料別途	21.2	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	118.3	m3			
コンクリートポンプ 圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	2,926	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	100m3/回以上	13	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	50m3/回以下	2	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						

一般工事		型枠				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
メッシュ型枠 (運搬費込み)		1,996	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5~4.0m程度	9,256	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	669	m <sup>2</sup>			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 基礎部 -	222	m <sup>2</sup>			
型枠	普通合板型枠 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	230	m <sup>2</sup>			
打放し型枠(曲面)	基礎B種	2.1	m <sup>2</sup>			
外壁化粧打ち放し 型枠	モールドスターTSS14リブ同等品 同パターン程度	25.8	m <sup>2</sup>			
型枠	打放合板型枠B種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5~4.0m程度	5,144	m <sup>2</sup>			
型枠	打放合板型枠C種 ラーメン構造 地上軸部 階高3.5~4.0m程度	51.7	m <sup>2</sup>			
打放し型枠(曲面)	地上B種	63.7	m <sup>2</sup>			
型枠目地棒	打継目地 幅20 × 深さ20程度	1,177	m			打継目地
型枠目地棒	化粧目地 幅20 × 深さ10程度	980	m			誘発目地
型枠目地棒	水切り目地 幅15 × 深さ10程度	659	m			水切り目地
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	5,457	m <sup>2</sup>			
打放し面補修	C種 コーン処理無 全面目違いばらい	49.1	m <sup>2</sup>			
型枠運搬費	10t車 30km程度 往復	15,664	m <sup>2</sup>			
型枠廃材処分費		5,221	m <sup>2</sup>			
耐震スリット	垂直 全貫通型 壁厚150 耐火型 防水 スリット厚25	136	m			
計						

一般工事		防水				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
屋根床改質アスファルト防水 ASI-T1	硬質ウレタンフォーム断熱材 t=30 保護塗料共	1,539	m <sup>2</sup>			
屋根立上り改質アスファルト防水 ASI-T1	保護塗料共	325	m <sup>2</sup>			
屋根立上り天端改質アスファルト防水 ASI-T1	保護塗料共	12.3	m <sup>2</sup>			
脱気筒	ステンレス製	25	か所			
防水押え金物	ｱﾙﾐ製 アスファルト防水用	657	m			
防水立上り水切金物	ｱﾙﾐ製 L-D30×H85程度	588	m			
屋根ﾊﾞﾗﾊﾞｯﾄ天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	219	m <sup>2</sup>			
庇天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	340	m <sup>2</sup>			
屋根 階段塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	5.4	m <sup>2</sup>			
ハト小屋天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	10.6	m <sup>2</sup>			
補給水槽基礎天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	1.5	m <sup>2</sup>			
機械基礎天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	16.1	m <sup>2</sup>			
目隠しフェンス基礎天端塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 平面 表面塗装ｶﾞｰ	2.9	m <sup>2</sup>			
屋根ﾊﾞﾗﾊﾞｯﾄ立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	137	m <sup>2</sup>			
庇立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	185	m <sup>2</sup>			
屋根階段立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	3.2	m <sup>2</sup>			
ハト小屋立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	5.3	m <sup>2</sup>			
補給水槽基礎立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	0.5	m <sup>2</sup>			
機械基礎立上り塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタンｺﾞﾑ系 立上り 表面塗装ｶﾞｰ	11.6	m <sup>2</sup>			

一般工事		防水				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目隠しフェンス基礎立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ウレタン系 立上り 表面塗装カテー	2.2	m <sup>2</sup>			
シーリング	ゴムアスファルト系 10 x 10 防水押え金物取合い	657	m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 20×10	1,199	m			打継目地
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 水切金物取合い	588	m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 20×10	980	m			誘発目地
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	11.1	m			ルーフドレイン周囲
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	570	m			水切金物取合い
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 建具廻	2,116	m			建具廻り
( 内部 )						
消火水槽・EVレ <sup>o</sup> ット 床 ケイ酸質系塗布 防水	平部 CU-1	15.9	m <sup>2</sup>			
消火水槽 天井 ケイ酸質系塗布 防水	天井 CU-1	11.4	m <sup>2</sup>			
消火水槽釜場立上り ケイ酸質系塗布 防水	立上り CU-1	0.4	m <sup>2</sup>			
消火水槽・EVレ <sup>o</sup> ット 壁 ケイ酸質系塗布 防水	立上り CU-1	31.6	m <sup>2</sup>			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	88.9	m			面台取合
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10 建具廻	52	m			建具廻り
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 仕上スリット部	299	m			
止水版	150 x 5	93	m			
計						



一般工事		タイル				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
( 外部 )						
中庭 床 タイル張り	木目調タイル貼 下地モルタル別途	246	m <sup>2</sup>			
玄関 床 タイル張り	磁器質 200角タイル貼 下地モルタル別途	57.4	m <sup>2</sup>			
段鼻タイル	I類 無ゆう	8.8	m			
丸柱 モザイクタ イル		4.2	m <sup>2</sup>			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字タイル I類 無ゆう 300角	1.7	m <sup>2</sup>			
樋受け300角タ イル敷き		4	枚			
( 内部 )						
1F 男子WC1 汚垂石タイル	W2500×D600	1	か所			
2・3F 男子WC3・5 汚垂石タイル	W4000×D600	2	か所			
2・3F 男子WC4・6 汚垂石タイル	W4100×D600	2	か所			
1F 男子WC2 汚垂石タイル	W4150×D600	1	か所			
1F プール男子 WC 汚垂石タイ ル	W2380xD480	1	か所			
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	17.9	m <sup>2</sup>			
床 磁器質タイル	200角	38.5	m <sup>2</sup>			
ポット面 磁器質タイル幅木	高さ200 100角	29.4	m			
計						

一般工事		木工				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
広小舞	杉 1等 45×90 防腐剤注入	21.1	m			
登り淀	杉 1等 60×30 防腐剤注入	42.2	m			
( 内部 )						
ころばし床組		8.6	m <sup>2</sup>			
床下地板張り	ラワンパネ 1類(高度耐水) 厚12+5.5	2.5	m <sup>2</sup>			
床コンパネ	t15	8.6	m <sup>2</sup>			
床 縁甲板	桧 上小節 厚15	6.2	m <sup>2</sup>			
木製幅木	桧 厚21 高さ75 県産材	1,032	m			
曲面木製幅木	曲面 桧 厚21 高さ75 県産材	20.1	m			
畳寄せ	杉 45×15県産材	23.4	m			
上り框	桧 120×100県産材	6.5	m			
教壇框	堅木集積材150×100	7.2	m			
胴縁組	杉 コ 18×45 @303県産材	2,231	m <sup>2</sup>			
胴縁組	杉 コ 24×45 @303 杉 好 24×45 @455 県産材	780	m <sup>2</sup>			
壁合板張り	シ1類 厚さ5.5 見え掛り	577	m <sup>2</sup>			
壁合板張り	ラワン1類 厚さ5.5 見え隠れ	1,599	m <sup>2</sup>			
曲面壁合板張り	曲面 シ1類 厚さ5.5 見え掛り	36.2	m <sup>2</sup>			
壁 有孔合板張り	シ1類 厚さ5.5 見え掛り 寒冷紗裏張	81.8	m <sup>2</sup>			
壁 縁甲板張り	桧 厚12 県産材 本実加工	782	m <sup>2</sup>			

一般工事		木工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
曲面壁 縁甲板張り	曲面 桧 厚12 県産材 本実加工	24.4	m <sup>2</sup>			
壁 見切縁	桧 45×45 県産材	1,155	m			
壁 見切縁	木製	2.8	m			1F パソコン教室
壁出隅 壁見切縁	桧 30×30県産材	500	m			
壁付手摺取付補強	コンパネ t12 W300	12.3	m			
階段手摺笠木	桧集成材 120×25	21.4	m			
額縁	桧 55×25 県産材	647	m			
額縁	桧 120×25 県産材	811	m			
三方枠	桧25×120 県産材	12.2	m			
天井下がり壁	杉 25×85 県産材	37.8	m			
木製カーテンボックス	杉 CLTパネ 150×100×24	195	m			
カーテンボックス代用ふ さぎ板	杉 CLTパネ 180×24	48.9	m			
プール器具庫 棚	W3850 x D600 x H1800	1	ヶ所			
プール器具庫 棚	W2850 x D600 x H1800	1	ヶ所			
倉庫1・3 棚	W2950 x D600 x 2000	2				
倉庫1・3 棚	W890 x D450 x H2000	2				
教材庫1 収納棚	W1650 x D800 x H2000 +W1950 x D495 x H2000	1				
教材庫1 収納棚	W3220 x D600 x H2000	1				
教材庫2・3 棚	W3330 x D600 x H1800	2				
倉庫2・5 棚	W1260 x D450 x H2000 +W1260 x D450 x H2000	2				



一般工事		屋根及びとい				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
屋根 平瓦葺き	低勾配仕様	195	m <sup>2</sup>			
屋根 平瓦葺き ゴムアスファルトルーフィング <sup>®</sup>	t=1.0	223	m <sup>2</sup>			
棟瓦	のし瓦:1段 共	10.6	m			
軒先瓦		21.1	m			
ケラバ <sup>®</sup> 瓦		42.2	m			
屋根 雪止瓦葺き	低勾配仕様	27.8	m <sup>2</sup>			
屋根工事諸経費		1	式			
小計						
屋根 段葺き	フッ素鋼板 厚0.4 吊子共	143	m <sup>2</sup>			
屋根 段葺き ゴムアスファルトルーフィング <sup>®</sup>	t=1.0	143	m <sup>2</sup>			
屋根 段葺き 耐火野地板	t=18 硬質木片セメント板	143	m <sup>2</sup>			
破風・鼻隠し	H=150+200 D=22+35 フッ素鋼板 t=0.4加工	37.8	m			
破風・鼻隠し下地	硬質木片セメント板板 t=18+18 H=350	37.8	m			
棟包み	屋根同材 W=300 下地:ガルバリ ウム鋼板 t 0.8加工	14.3	m			
軒先唐草	屋根同材加工	27.6	m			
ケラバ <sup>®</sup> キャップ	規格品	20.4	m			
ケラバ <sup>®</sup> 唐草	屋根同材加工	20.4	m			
軒先水切り	屋根同材加工	27.6	m			
ケラバ <sup>®</sup> 水切り	屋根同材加工	20.4	m			

一般工事		屋根及びとい				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
雨押え	屋根同材 取付下地共 W=150	10.2	m			
雪止め	L-50×50×4 亜鉛メッキ ステンレス取付金具(φ300)共	56.2	m			
雪止めネット	SW-2000- D600xW2000 亜鉛メッキ鋼線 菱形金網 C-GS7 2.0φx20mm 金具・フック共	27.6	m			
資材荷揚げ費		1	式			
資材運搬費		1	式			
諸経費		1	式			
小計						
軒樋	硬質塩化ビニル既製角樋 前高120 ステンレス吊金具(φ300共)	21.1	m			
アルミ軒樋	アルミ製既製品 9号	27.6	m			
ルーフトレイン	縦形ろく屋根用 アスファルト・シート防水用 SGP 100A 張掛け幅 100	28	か所			
ルーフトレイン	縦形ろく屋根用 75A 塗膜防水用	1	か所			
ルーフトレイン	中継用 塗膜防水用 100A	1	か所			
自在ドレン	89φ SUS304	2	か所			
自在ドレン	75φ	2	か所			
硬質塩化ビニル堅樋 (カラーVP) 掘金物共	φ75 継手・エルボ・掃除口共	7.1	m			
硬質塩化ビニル堅樋 (カラーVP) 掘金物共	φ100 継手・エルボ・掃除口共	258	m			
アルミ堅樋	φ89	10	m			
諸経費		1	式			
計						

一般工事		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
屋根 アルミ笠木	W=250 既製品 カラー	127	m			
屋根 アルミ笠木コーナー加工	W=250 既製品 カラー	12	か所			
屋根 アルミ笠木コーナー加工(鈍角)	W=250 既製品 カラー	4	か所			
屋根 アルミ笠木コーナー加工 立面山型	W=250 既製品 カラー	1	か所			
屋根 アルミ笠木コーナー加工 立面谷型	W=250 既製品 カラー	2	か所			
屋根 アルミ笠木付きアルミ手摺	H=850 縦格子手摺 既製品	26	m			
屋根 アルミ笠木付きアルミ手摺平面多角加工	H=850 縦格子手摺 既製品	6.4	m			
屋根 アルミ笠木付きアルミ手摺コーナー加工(直-R)	H=850 縦格子手摺 既製品	4	か所			
アルミ庇	W=3800 D=1500 アーム付 既製品	1	か所			
アルミ庇	W=2400 D=1000 既製品	1	か所			
タラップ(背かご付)	SUS製 ステップ:φ19 W350 @360 支柱:φ48.6 かご:φ13 H=3200	2	か所			
タラップ(背かご付)	SUS製 ステップ:φ19 W350 @360 支柱:φ48.6 かご:φ13 プールのイレ壁面	1	か所			
鋼製グレーチング溝ふた	側溝用(枠付) 細目 歩行用 溝幅150	27.2	m			
玄関マット	SUSラインマット ノンスリップタイプ W2000×D1000	2	か所			
外壁 スパントレール張り	カラーガルバリウム鋼板 t=0.5(木目)	7.4	m <sup>2</sup>			
外壁 軽量鉄骨天井下地	25型	7.4	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート含む	136	m <sup>2</sup>			
ハト小屋 配管取り出し口アルミパネル t2.0	取付アングルL-40 x 40 x 3共 H=400	14.2	m			
ハト小屋床塞ぎ板取付角パイプ	□-30 x 30 x 1.6	34.5	m			

一般工事		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
車止めゴム	H70 L2000 ターミナルラバー KS-7-20同等	1	か所			
オーバーフロー管	SUSφ60 L180	2	か所			
車止め	再生ゴムチップ φ130 x H800 基礎：300角×H250/砕石 t 50	3	か所			
EXP. Jカバー：アルミ製	屋根～屋根 クリアランスW=50 W=450 耐火仕様	1.5	m			
EXP. Jカバー：アルミ製	外壁～屋根 クリアランスW=50 W=300 耐火仕様	12.7	m			
両端部役物カバー		2	か所			
EXP. Jカバー：アルミ製	外壁～外壁 クリアランスW=50 耐火仕様	1.2	m			
EXP. Jカバー：アルミ製	外壁～外壁 クリアランスW=50 L型 耐火仕様	8.5	m			
EXP. Jカバー：アルミ製	外壁～天井 クリアランスW=50 L型	1.1	m			
EXP. Jカバー：アルミ製	天井～天井 クリアランスW=50	1	m			
EXP. J 屋根用	W50用 平 (耐火)	4	m			
EXP. J 屋根・壁用	W50用 L形 (耐火)	0.7	m			
両端部役物カバー		2	か所			
EXP. J 壁用	W50用 L形 (耐火)	4.2	m			
EXP. J 壁用	W50用 平形 (耐火)	4.2	m			
ペントキャップ	アルミ製 100φ	2	個			
天井廻縁	カラーアルミ製	60	m			
( 内部 )						
水受け皿	SUS1.0 714 x 490 x 30	1	か所			
水受け皿	SUS1.0 670 x 380 x 30	1	か所			

一般工事		金属				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水受け皿	SUS1.0 680 x 490 x 30	2	か所			
水受け皿	SUS1.0 720 x 490 x 30	2	か所			
水受け皿	SUS1.0 880 x 490 x 30	2	か所			
水受け皿	SUS1.0 790 x 490 x 30	2	か所			
水受け皿	SUS1.0 740 x 500 x 30	2	か所			
水受け皿	SUS1.0 1450 x 470 x 30	1	か所			
鋼製溝付スリット 溝蓋 細目	ステンレス製 W94xH90xL1900	1	か所			
鋼製グレーチング W150用 受枠共	歩行用 細目ノンスリップ	4	m			
ステンレス巾木	高さ100	262	m			
薄型軽量鉄骨壁下地	別々接着工法	90	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	439	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	289	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 650×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 800×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 850×2000mm程度	8	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 850×2500mm程度	14	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	3	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 1200×2700mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 1250×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部 補強	65形 扉等三方補強 1250×2800mm程度	1	か所			

一般工事		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1300×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1700×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1790×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1890×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ｸﾞｯﾄﾞ等四方補強 600×600mm程度	17	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ｸﾞｯﾄﾞ等四方補強 3180×2620mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ｸﾞｯﾄﾞ等四方補強 3180×3680mm程度	2	か所			
軽量鉄骨下がり壁下地	19形(屋内) H300～500程度	6.2	m			
下り壁見切縁	ｱﾙﾐ製	6.2	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｼﾞｯﾄﾞ含む	2,012	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｼﾞｯﾄﾞ含む	2,157	m <sup>2</sup>			
耐震天井下地		52.4	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨天井開口部補強 プロジェクター受け	19形(屋内) 300×300mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	21	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 換気扇類	19形(屋内) 300×300mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	115	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 天井点検口	19形(屋内) 450×450mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	158	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 照明器具	19形(屋内) 450×450mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	18	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 天井点検口	19形(屋内) 600×600mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 空調開口	19形(屋内) 900×900mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	57	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 吸気口	19形(屋内) 400×200mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	44	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強 照明器具	19形(屋内) 150×617mm程度 ﾌﾞﾛｼﾞｪｸﾀｰ等切込み共	1	か所			

一般工事		金属				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井 開口部補強 照明 器具	19形(屋内) 150×1235mm程度 ボート等切込み共	394	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強 照明 器具	19形(屋内) 220×1235mm程度 ボート等切込み共	44	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強 スク リーンボックス	19形(屋内) 205×4400mm程度 ボート等切込み共	1	か所			
床 見切縁	ステン製	69.8	m			
階段滑り止め	ステン製 エンド無し 幅35	161	m			
面台	ステン製 W150	1	m			
ビクチャーレール		14.5	m			
カーテンレール	ステン製 シングル C型	198	m			
カーテンレール	ステン製 ダブル C型	21.3	m			
吊下げカーテンレ ール	H500	38.1	m			
床点検口	屋内用 一般型充填用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵付 600角	4	か所			
床点検口	屋内用 一般型充填用 アルミ製枠 ステン目地 鍵付 600角	1	か所			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	164	か所			
マンホールふた	簡易密閉形(ハッキン式) 15KN(T-6) 内径600	1	か所			
タラップ(足掛)	ステン製 8-31-1	20	か所			
1F 更衣休憩室壁メ ンテナンスハッチ	アルミ製 450角	1	か所			
2F 教材庫1・2壁メ ンテナンスハッチ	アルミ製 600角	6	か所			
3階展示コーナー 手摺	SUS φ38 x 2.0 SUS支柱φ27 x 2.0@500	7.3	m			
避難はしご ワイ ヤローブ式 8.8 m以上用	踏棒足長≥10cm 鉄製はしご収納箱 付	1	か所			
アルミ製スクリー ンボックス200イ ンチ用	205 x 4400 x 205H	1	か所			



一般工事		左官				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
屋根パーライトモルタル塗	t 40	223				
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	1,552	m <sup>2</sup>			屋根 床
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	340	m <sup>2</sup>			庇天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	5.4	m <sup>2</sup>			屋根 階段
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	10.6	m <sup>2</sup>			ハト小屋天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	1.5	m <sup>2</sup>			補給水槽基礎天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	16.1	m <sup>2</sup>			機械基礎天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	2.9	m <sup>2</sup>			目隠しフェンス基礎天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	219	m <sup>2</sup>			バラベツト天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地 W=180	68.5	m			屋根立上り天端
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	24.5	m <sup>2</sup>			スロープ
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1.8	m <sup>2</sup>			階段
床モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚30	7.2	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	木ごて エッコタイル下地 厚22	57.4	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	木ごて エッコタイル下地 厚22	246	m <sup>2</sup>			
複層塗材 Si	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	2,661	m <sup>2</sup>			外壁
複層塗材 Si	コンクリート面 下地調整費(C-1)共 ローラー塗り	134	m <sup>2</sup>			巾木
軒天 外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 ローラー塗り 下地調整費(C-1)共	68.3	m <sup>2</sup>			
庇軒裏 外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状ローラー塗り 下地調整費(C-1)共	314	m <sup>2</sup>			

一般工事		左官				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
パレット軒裏 外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 ローラー塗 下地調整費(C-1)共	213	m <sup>2</sup>			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	1,681	m			
EXP. J部ロッ クウール充填	W50 x H170	37	m			
( 内部 )						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	109	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	104	m <sup>2</sup>			消火水槽・EVビット
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごてセルフレベルリング下地	2,531	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	4.8	m <sup>2</sup>			階段床セルフレベルリング*
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 厚張物下地	1,459	m <sup>2</sup>			フローリング*
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	47.2	m <sup>2</sup>			塗床
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.7	m <sup>2</sup>			機械基礎天端
床モルタル塗り	木ごて 一般タイル下地 厚37	56.5	m <sup>2</sup>			
床モルタル塗り	金ごて 塗仕上下地 厚30	66.2	m <sup>2</sup>			
床セルフレベルリング*	厚10 セメント系	2,415	m <sup>2</sup>			
階段床セルフレベルリング*	厚10 セメント系	121	m <sup>2</sup>			
EV三方枠 モルタル詰め	W150	15	m			
壁 複層塗材E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り 水系つやあり 上塗2回 下地調整費(屋内)共	311	m <sup>2</sup>			
壁 複層塗材E	ボード面 ゆず肌状 ローラー塗り 水系つやあり 上塗2回 下地調整費共	9.1	m <sup>2</sup>			
下り壁 複層塗材E	ボード面 ゆず肌状 ローラー塗り 水系つやあり 上塗2回 下地調整費共	4.9	m <sup>2</sup>			
天井 複層塗材E	コンクリート面 小粒 ローラー塗 アクリル系 水系つやあり 上塗2回 下地調整費(屋内)共	61.7	m <sup>2</sup>			





一般工事		木製建具		トイレブース		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
TB1トイレブース	W750×H1900	2	か所			
TB2トイレブース	W(1660+1815)×H1900	1	か所			
TB3トイレブース	W1000×H1900	1	か所			
TB4トイレブース	W(3020+1225+960×2)×H1900	1	か所			
TB5トイレブース	W980×H1900	1	か所			
TB6トイレブース	W(2720+1000×2)×H1900	1	か所			
TB7トイレブース	W1205×H1900	1	か所			
TB8トイレブース	W(4115+1000×2)×H1900	1	か所			
TB9トイレブース	W(4240+960×3+550)×H1900	1	か所			
TB11トイレブース	W1315×H1900	2	か所			
TB12トイレブース	W(2000+1480×2)×H1900	2	か所			
TB13トイレブース	W(4000+1500×3)×H1900	2	か所			
TB13Aトイレブース	W(4115+1500×3)×H1900	2	か所			
TB14トイレブース	W(2770+1480×3)×H1900	5	か所			
TB15トイレブース	W(3470+980×3)×H1900	1	か所			
TB16トイレブース	W600×H1900	3	か所			
TB17トイレブース	W(1627+830)×H1900	1	か所			
TB18トイレブース	W(1862+1390)×H1900	1	か所			
運搬建付費		1	式			
計						

一般工事		金属製建具		アルミ製建具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)						
AWD1 嵌殺ランマ付2連引分ハンカートア	W7200×H2760 キックプレート共	1	か所			
AWD2 引違ランマ・引違窓付引違トア	W3180×H2660 キックプレート共	1	か所			
AWD3 片引きランマ付片引トア	W2000×H2660 キックプレート共	1	か所			
AWD4 片引きランマ付片引トア	W1700×H2660 キックプレート共	1	か所			
AWD5 嵌殺袖付4枚建トア	W6720×H2300	3	か所			
AWD6 嵌殺袖付4枚建トア	W4800×H2300	2	か所			
AD1 片開トア	W850×H2200	1	か所			
AD2 片開フラッシュトア	W750×H2000	1	か所			
AD3 両開親子トア	W1250×H2000	1	か所			
AD3A 両開親子トア	W1250×H2000	1	か所			
AD4 2連引ハンカートア	W1600×H2000	1	か所			
AD5 両開フラッシュトア	W1400×H2000	1	か所			
AD6 引違トア	W2000×H2000	2	か所			
AD7 片開フラッシュトア	W800×H1200	2	か所			
AD8 嵌め殺しランマ付片開フラッシュトア	W850×H2500	2	か所			
AD9 片開フラッシュトア	W800×H2000	2	か所			
AW1 2連2段引違窓	W3180×H1860	53	か所			
AW2 2段引違窓	W1010×H1860	1	か所			
AW3 2段引違窓	W1570×H1860	1	か所			

一般工事		金属製建具		アルミ製建具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
AW4 2連2段引違窓	W3180×H1860 防火設備	2	か所			
AW5 2連2段引違窓	W2900×H1860	4	か所			
AW6引違窓	W2250×H1510	5	か所			
AW7 2連引違窓	W3000×H1510	5	か所			
AW8嵌殺ランマ付上げ 下げ窓	W500×H1310	2	か所			
AW9嵌殺ランマ付上げ 下げ窓	W500×H1310	4	か所			
AW10嵌殺窓付堅滑 り出し窓	W3180×H2620	2	か所			
AW11嵌殺ランマ付上 げ下げ窓	W500×H1310	14	か所			
AW12嵌殺窓付突出 し窓	W780×H1860	1	か所			
AW13嵌殺窓付2段 引違窓	W2370×H1860	1	か所			
AW14 2連2段引違窓	W2980×H1860	1	か所			
AW15嵌殺窓	W900×H2660	1	か所			
AW16堅すべり出窓	W390×H2660	4	か所			
AW17嵌め殺し袖付 2段引違窓	W770×H1260	1	か所			
AW18堅すべり出窓 付嵌殺窓	W1830×H2760	1	か所			
AW19 2連引違窓	W3180×H1510	34	か所			
AW20 2連引違窓	W2970×H1510	8	か所			
AW21嵌殺袖付引違 窓	W2020×H1510	4	か所			
AW22嵌殺窓	W1600×H800	1	か所			
AW23嵌殺ランマ・ 窓付き堅滑り出し 窓	W7830×H2885	1	か所			

一般工事		金属製建具		アルミ製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
AW24嵌殺窓付2段引違窓	W2180×H1860	2	か所			
AW25引違窓付片開戸	W2480×H1860	1	か所			
AW26嵌殺窓付引違窓	W6720×H1510	6	か所			
AW27 2連2段引違窓	W2700×H1860	1	か所			
AW28 嵌殺窓付堅滑り出し窓	W3180 x H3680	2	か所			
AW29 2連2段引違窓	W2980×H1860	1	か所			
AW30嵌殺窓	W390×H390	16	か所			
AW31嵌殺窓付引違窓	W4800×H1510	2	か所			
AW32 2連2段引違窓	W2700×H1860	1	か所			
AW33 2連2段引違窓	W2980×H1860	1	か所			
AW34 堅滑り出し窓	W900 X H1510	1	か所			
AW35 引違窓	W1500×H1510	1	か所			
AW36 堅すべり出窓	W800×H1510	1	か所			
AW37 上げ下げ窓	W500×H850	1	か所			
AW38 嵌め殺し ランマ・腰・袖付き堅すべり出し窓	W7830 x H3680	1	か所			
運搬費		1	式			
取付調整費		1	式			
現場シーリング費		1	式			
設計費		1	式			
諸経費		1	式			







一般工事		金属製建具		軽量鋼製建具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
LSD1	両開親子ドア W1250×H2000	1	か所			
LSD2	片引ハンカートア W1200×H2000	1	か所			
LSD3	軽量鋼製折戸 W1350×H2000	1	か所			
LSD4	両開親子ドア W1250×H2000 防火設備	1	か所			
LSD5	片引ハンカートア W900×H2000	1	か所			
LSD6	片開防音ドア W850×H2000	1	か所			
LSD7	片開ドア W850×H2000	1	か所			
LSD8	片引ハンカートア W850×H2000	1	か所			
LSD9	両開親子防音ドア W1250×H2000	1	か所			
LSD9'	両開親子防音ドア 額無 W1250×H2000	1	か所			
LSD10	片引ハンカートア W900×H2000	2	か所			
LSD11	両開親子ドア W1250×H2000	1	か所			
LSD12	両開親子ドア W1250×H2000	1	か所			
LSD13	片引ハンカートア W850×H2000	1	か所			
	養生運搬費	1	式			
	取付費	1	式			
	計					

一般工事		金属製建具		学校間仕切		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
SP1学校間仕切	W3180×H2700	39	办所			
SP1A学校間仕切	W3180×H2700	1	办所			
SP2学校間仕切	W2905×H2700	4	办所			
SP4学校間仕切	W850×H2500	2	办所			
SP5学校間仕切	W1890×H2700	1	办所			
SP5A学校間仕切	W1890×H2000	1	办所			
SP6学校間仕切	W1700×H2700	1	办所			
SP7学校間仕切	W3180×H2500	1	办所			
SP8学校間仕切	W5900×H2500	1	办所			
SP9学校間仕切	W1250×H2500	2	办所			
SP10学校間仕切	W1200×H2700	1	办所			
SP11学校間仕切	W1890×H2000	1	办所			
SP12学校間仕切	W1250×H2700	1	办所			
SP13学校間仕切	W850×H2000	2	办所			
SP14学校間仕切	W850×H2500	1	办所			
SP15学校間仕切	W1250×H2800	1	办所			
SP16学校間仕切	W1890×H2000	1	办所			
SP17学校間仕切	W1790×H2000	1	办所			
SP18学校間仕切	W1890×H2000	2	办所			
SP19学校間仕切	W1700×H2000	2	办所			









一般工事		硝子				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
( 外部 )						
パネル施工費		6	m <sup>2</sup>			
型板強化ガラス	t4 清掃共	4.6	m <sup>2</sup>			
強化ガラス	t4 清掃共 2.0m <sup>2</sup> 以下	2.3	m <sup>2</sup>			
強化ガラス	特寸t6 2.0m <sup>2</sup> 以下 清掃共	12.5	m <sup>2</sup>			
合わせがらす	FL5+FL5 特寸 4.0m <sup>2</sup> 以下 シーリング 清掃共	1.3	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE4+A6+強化T4 特寸 2.0 清 掃共	704	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE4+A6+強化型T4 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以下 清掃共	2.6	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE5+A6+強化T5 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	57.4	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE5+A6+強化T5 特寸 4.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	52.7	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE6+A6+強化T5 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	32.7	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	強化LowE6+A6+強化T5 特寸 4.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	18.3	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	NP6.8+A6+強化LowE4 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	5.5	m <sup>2</sup>			
複層ガラス	熱線反射6+A6+強化T4 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以 下 清掃共	5.7	m <sup>2</sup>			
衝突防止表示	ステンレス製 径30 両面	212	か所			
目隠しフィルム貼り		15.9	m <sup>2</sup>			
( 内部 )						
強化ガラス	厚さ 4mm 平面 2.0m <sup>2</sup> 以下 清掃共	157	m <sup>2</sup>			
型板強化ガラス	厚さ 4mm 平面 1.8m <sup>2</sup> 以下 清掃共	17.9	m <sup>2</sup>			
強化ガラス	厚さ 5mm 特寸 2.0m <sup>2</sup> 以下 シーリング 清掃共	0.3	m <sup>2</sup>			



一般工事		塗装				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
玄関柱 耐火塗料塗	1時間耐火	5.2	m <sup>2</sup>			
外壁 DP塗装	コンクリート面 素地ごしらえ共	25.8	m <sup>2</sup>			
床 防塵塗装	水性アクリル系樹脂塗材 モルタル面	3.2	m <sup>2</sup>			
( 内部 )						
床 防塵塗装	水性アクリル系樹脂塗材 コンクリート面	47.2	m <sup>2</sup>			
幅木 防塵塗装	高さ100 水性アクリル系樹脂塗材 コンクリート面	46.1	m			
幅木 防塵塗装	高さ100 水性アクリル系樹脂塗材 ボード面	1.1	m			
幅木 防塵塗装	高さ100 水性アクリル系樹脂塗材 ケイ板面	7.1	m			
手摺笠木PU塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地ごしらえB種	34.5	m			
OS塗り	木部 工程B種 素地B種	1,599	m <sup>2</sup>			
OS塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種 素地B種	4,197	m			
SOP塗り	鋼製建具面 塗料1種 錆止工程A塗料A	123	m <sup>2</sup>			
DP塗り	耐火ボード面 1級 工程B種 素地A種	53.4	m <sup>2</sup>			
天井下がり壁SOP塗り	木部 工程B種(屋内) 素地A種	37.8	m			
EP-G塗り	梁型 モルタル面 工程B種( 見上) 素地B種 家庭科室	24.2	m <sup>2</sup>			
計						

一般工事		内外装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(外部)						
パルプ繊維混入セメント板(木目) 不燃 t 12		136	m <sup>2</sup>			
(内部)						
畳下 床ネットフォーム		25.7	m <sup>2</sup>			
OAフロー	H=50~75	183	m <sup>2</sup>			
OAフローポーター	H=50~75	86.8	m			
床 天然木化粧複合フローリング張り	厚14 直貼用	1,467	m <sup>2</sup>			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	156	m <sup>2</sup>			
階段ビニル床シート	厚さ2.0 木目・防滑・エンボス 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	121	m <sup>2</sup>			
木目ビニル床シート	厚さ2.0 木目 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	19.5	m <sup>2</sup>			
木目・防滑・エンボス ビニル床シート	厚さ2.0 木目・防滑・エンボス 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	1,366	m <sup>2</sup>			
防滑抗菌ビニル床シート	無地 厚さ2.0 防滑・抗菌 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	210	m <sup>2</sup>			
多湿防滑抗菌ビニル床シート	無地 厚さ2.0 防滑・抗菌 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	232	m <sup>2</sup>			
耐薬品ビニル床シート	無地 厚さ2.0 耐薬品 不織布積層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法	101	m <sup>2</sup>			
床タイルカーペット	総厚6.5 500角 1種ループバイル 一般事務室用	223	m <sup>2</sup>			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	2.2	m <sup>2</sup>			
琉球畳敷き	厚55 900×900	21	か所			
畳下床 合成樹脂 発泡シート張り	t=4.5	13.6	m <sup>2</sup>			
合成樹脂塗床	エポキシ樹脂系 平滑仕上げ ローコストアップル工法	65	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ75	269	m			

一般工事		内外装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木目ビニル幅木	高さ75 木目	84.6				
階段ビニル幅木	ささら 高さ300	64	m			
厚型木彫巾木	H45	122	m			
耐火間仕切壁	LGS65@455+GB-Ft21+21(両面) グラスウール充填t50 24kg/m3	1,034	m <sup>2</sup>			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 600×2300mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 850×2000mm程度	2	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 850×2500mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1250×2000mm程度	2	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1300×2000mm程度	2	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1250×2500mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1250×2700mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1700×2700mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1890×2000mm程度	3	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1890×2500mm程度	2	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1890×2700mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 3180×2500mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 3180×2700mm程度	39	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 5900×2500mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 ｸﾞﾗｽ等四方補強 1600×800mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁 開口部補強	65形 ｸﾞﾗｽ等四方補強 2415×460mm程度	1	か所			

一般工事		内外装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
耐火間仕切シーリング	告示仕様	3,344	m			
遮音間仕切シーリング	告示仕様	830	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC,CB直張り 下地張り - -	9.1	m <sup>2</sup>			GL
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC,CB直張り 継目処理 - -	128	m <sup>2</sup>			GL
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	140	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	2.5	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 RC,CB直張り 突付け 下張GB-R 厚12.5共	1.2	m <sup>2</sup>			幅木下
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 RC,CB直張り 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	88	m <sup>2</sup>			GL
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	233	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け 下張GB-R 厚12.5共	10.3	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 RC,CB直張り 下地張り - -	80.9	m <sup>2</sup>			GL
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 RC,CB直張り 突付け - -	289	m <sup>2</sup>			GL
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	639	m <sup>2</sup>			
壁 シーリング せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	15.9	m <sup>2</sup>			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK厚6 鋼製、木、ボード下地 突付け - -	36	m <sup>2</sup>			
壁 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK厚6 鋼製、木、ボード下地 継目処理	29.2	m <sup>2</sup>			
壁 化粧ケイ酸カ ルシウム板張	t6	992	m <sup>2</sup>			
クロス下耐火間仕切 継目処理加算		111	m <sup>2</sup>			
壁 吸音掲示クロス	合板面	1,599	m <sup>2</sup>			
掲示クロス	軽量鋼製面	9.8	m <sup>2</sup>			

一般工事		内外装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
掲示クロス	学校間仕切面	1,012	m <sup>2</sup>			
壁 無機質クロス	ボード面	562	m <sup>2</sup>			
壁 無機質クロス	コンクリート面	18.2	m <sup>2</sup>			
壁 調整パッキン	樹脂製 t6程度	441	m <sup>2</sup>			
遮音壁 壁 ロックウール充填	t50 200kg/m3	332	m <sup>2</sup>			
壁グラスウール	t50	118	m <sup>2</sup>			
外壁面壁 現場発 泡ウレタン吹付	t30	2,781	m <sup>2</sup>			
下り壁 せっこうボード張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け	4.9	m <sup>2</sup>			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 突付け	473	m <sup>2</sup>			
天井 化粧吸音せ っこうボード張り	厚9.5 準不燃 突付け	1,539	m <sup>2</sup>			
天井 ロックウール化粧 吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚9 不燃 下張GB-R 厚9.5共	2,157	m <sup>2</sup>			
天井 アルミ熱反 射シート	t 4.0	800	m <sup>2</sup>			
天井グラスウール充填	t100 24kg/m3	800	m <sup>2</sup>			
天井 現場発泡ウレタン吹付	t30	789	m <sup>2</sup>			
面台	パシボ ストフォーム t20 W150	9.7	m			
面台	パシボ ストフォーム t20 W180	32.6	m			
壁ボード 出隅 コーナーボード		98.6	m			
天井廻縁	塩化ビニル製	773	m			
天井廻縁	塩化ビニル製(吸振)	2,072	m			
天井廻縁(曲面)	塩化ビニル製(吸振)	17.5	m			



一般工事		仕上およびユニット				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
目隠しフェンス	カラーアルミルーバー目隠しフェンス 扉2か所 含む	92	m <sup>2</sup>			
U形側溝	150 - 再生クラッシュラン	25.9	m			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字タイル I類 無ゆう 300角	1.7	m <sup>2</sup>			
雨水樹C, D (現 場打ち)	内寸350角×h370+150/外寸590角×H 590 樹蓋：クレーンク 蓋350角用 (450角) T-2細目ノンスリップ仕様	2	か所			
化粧鉄蓋	350 x 350	12	ヶ所			
小計						
( 内部 )						
階段1・2 RC面壁付 手摺	半硬質樹脂製 φ34 木目・抗菌 7mm製ブラケット共	72.6	m			
階段1・2 LGS面壁 付手摺	半硬質樹脂製 φ34 木目・抗菌 7mm製ブラケット共	12.3	m			
階段1・2壁付手摺コ ーナー役物	鈍角 φ34	32	か所			
階段1・2壁付手摺コ ーナー役物	直角 φ34	20	か所			
階段1・2壁付手摺エ ント役物	φ34	12	か所			
掃除道具掛 SUS t1.2	ステンレスフック4か所	14	か所			
1F USシャワーユニット	0812 パリアフリー折戸 換気扇付	1	か所			
1F 湯沸室ミニキッチン	W1200 IHコンロ 混合水栓	1	か所			
諸経費	シャワーユニット・ミニキッチン	1	式			
1F 女子WC1棚板	珪化化粧板 W700×D250 t20	1	か所			
2・3F 女子WC4・6棚 板	珪化化粧板 W750×D250 t20	2	か所			

一般工事		仕上およびユニット				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2F 男子WC3棚板	珪化化粧板 W800×D250 t20	2	か所			
2・3F 男子WC4・6棚板	珪化化粧板 W800×D250 t20	2	か所			
2・3F SK(女子WC3・5)棚板	珪化化粧板 W800×D250 t20	2	か所			
1F 通級教室鏡	W1200×H900	1	か所			
2F 家庭科室姿見鏡	W600×H1500	1	か所			
諸経費	鏡	1	式			
2F 家庭科室物干金物	L1200	2	か所			
TVハンガー	L=1150	26	か所			
1F 昇降口ホストメイト表示シール		1	か所			
手動式反射鏡	L2405	1	か所			
消火器ボックス	埋込タイプ ABC10型用	10	か所			
小計						
(ホワイトボード)						
1F 放送室ホイトボード	W900×H900 行事用	1	か所			
1F 保健室ホイトボード	W1200×H900	1	か所			
1F 配膳室ホイトボード	W1800×H900 行事用	1	か所			
1F 教育相談室・相談コーナーホイトボード	W1800×H1200	2	か所			
1F 図書館ホイトボード	W1800×H1200 行事用	1	か所			
1F 職員室ホイトボード	W1800×H1200 スクリーン兼用	1	か所			
ホイトボード	W3600 x H1200 スクリーン兼用	7	か所			

一般工事		仕上およびユニット				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上下スライド式 ホリボート	W3600 x H1200 スクリーン兼用	21	か所			
1F 職員室上下式 ホリボート	W3600×H1800 行事用	1	か所			
2F 音楽室上下式 ホリボート	W3600×H1800 スクリーン兼用 (一面は五線)	1	か所			
小計						
(カーテン・ブラ インド)						
吊下げ式カーテン 保健室	W2200×H2100程度	2	か所			
吊下げ式カーテン 保健室	W1400×H2100程度	3	か所			
吊下げ式カーテン 特別支援	W3500×H2100程度	3	か所			
吊下げ式カーテン 少人数	W3000×H2100程度	1	か所			
吊下げ式ビニール カーテン 児童更衣	W2000×H2000程度	8	か所			
理科室等 AW1 遮光カーテン	W3180×H1960	4	か所			
AW24 遮光カーテン	W2180×H1960	1	か所			
S P-1 遮光カーテン	W3180×H2760	2	か所			
校舎棟AW1 カーテン	W3180×H1960	47	か所			
校舎棟AW2 カーテン	W1010×H1960	1	か所			
校舎棟AW3 カーテン	W1570×H1960	1	か所			
校舎棟AW4 カーテン	W3180×H1960	2	か所			
校舎棟AW5 カーテン	W2900×H1960	4	か所			
校舎棟AW8 カーテン	W500×H1310	1	か所			
校舎棟AW13 カーテン	W2370×H1960	1	か所			

一般工事		仕上およびユニット				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
校舎棟AW17 カーテン	W770×H1260	1	か所			
校舎棟AW18 カーテン	W1830×H2760	1	か所			
校舎棟AW22 カーテン	W1600×H800	1	か所			
校舎棟AW24 カーテン	W2180×H1960	1	か所			
校舎棟AW25 カーテン	W2480×H1960	1	か所			
校舎棟AW27 カーテン	W2700×H1960	1	か所			
校舎棟AW29 カーテン	W2980×H1960	1	か所			
校舎棟AWD2 カーテン	W3180×H2760	1	か所			
校舎棟AWD4 カーテン	W1700×H2760	1	か所			
校舎棟WW-1 カーテン	W2300×H1760	1	か所			
AW-1 ブライ ンド	W3180xH1960	2	か所			
AW-12 ブライ ンド	W790xH1960	1	か所			
小計						
(サイン)						
木製室名札AS-1	正面付 W200xH200 文字	4	か所			
亚克力室名札AS -1	正面付 W200xH200 文字	3	か所			
木製室名札AS-1s	正面付 W200xH70 文字	9	か所			
亚克力室名札AS -1s	正面付 W200xH70 文字	2	か所			
亚克力室名札AS -2	正面付 W200xH200 ピクト	3	か所			
木製室名札AS-3	側面付 W200xH200 文字	36	か所			



一般工事		仕上およびユニット		家具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(家具)						
K-1-1	昇降口 下足入	1	か所			
K-1-2	昇降口 下足入	2	か所			
K-2	昇降口 下足入	1	か所			
K-3	昇降口 トロフィー棚	1	か所			
K-4	昇降口 飾り棚	1	か所			
K-5-1	展示コーナー 掲示板	2	か所			
K-5-2	展示コーナー 掲示板	4	か所			
K-6	職員室 受付カウンター	1	か所			
K-7	廊下 手洗い (SUS)	12	か所			
K-8	職員室 収納棚	1	か所			
K-9	職員室 収納棚	1	か所			
K-10	職員室 収納棚	1	か所			
K-11	職員室 収納棚	1	か所			
K-12	印刷室 吊戸棚	1	か所			
K-13	校長室 収納棚	1	か所			
K-14	校長室 収納棚	1	か所			
K-15	校長室 洗面台・ロッカー・窓下棚 ・校旗立・トロフィー棚	1	か所			
K-16	C R ロッカー	17	か所			
K-17	掃除道具入れ	27	か所			

一般工事		仕上およびユニット		家具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K-18	C R・少人数 棚	20	か所			
K-18-2	特別支援学級 棚	3	か所			
K-19-1	特別支援学級 棚	3	か所			
K-19-2	C R・少人数・ 棚	19	か所			
K-19-3	少人数 棚	1	か所			
K-20	自動更衣室 棚	2	か所			
K-21	保健室 手洗い (S U S)	1	か所			
K-22	保健室 収納棚	1	か所			
K-23	パソコン教室 収納	1	か所			
K-24	図書館 高架書架	1	か所			
K-25	図書館 掃除道具入れ	1	か所			
K-26	図書館 高架書架	1	か所			
K-27	図書館 中置書架	5	か所			
K-28	図書館 中置書架	3	か所			
K-29	図書館 本棚	4	か所			
K-30	図書館 カウンター	1	か所			
K-31	図書館 本棚	1	か所			
K-32	図書館 本棚	1	か所			
K-33	図書館 カウンター	1	か所			
K-34	図書館 本棚	2	か所			

一般工事		仕上およびユニット		家具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K-35	図書館 窓下書庫	1	か所			
K-36	図書館 窓下本棚	1	か所			
K-37	図書館 壁面本棚	1	か所			
K-38	配膳室 2槽シンク (SUS)	1	か所			
K-39	通級教室 窓下児童ロッカー	1	か所			
K-40	読書コーナー 本棚	4	か所			
K-41	読書コーナー 本棚	2	か所			
K-42	読書コーナー 本棚	2	か所			
K-43	音楽室 収納棚	1	か所			
K-44	音楽室 窓下棚・踏台	1	か所			
K-45	音楽室 楽器棚	1	か所			
K-46	音楽準備室 楽器棚	1	か所			
K-47	音楽準備室 楽器棚	1	か所			
K-48	少人数教室2 手洗い・窓下児童ロッカー	1	か所			
K-49-1	特別支援教室 ほし1・2 手洗い・窓下児童ロッカー	1	か所			
K-49-2	特別支援教室 ほし1・2 手洗い・窓下児童ロッカー	1	か所			
K-50	特別支援教室 にじ 手洗い・窓下児童ロッカー	1	か所			
K-51	調理準備室 窓下戸棚	1	か所			
K-52	調理準備室 食器棚	1	か所			
K-53	調理準備室 食器棚・掃除具入	1	か所			

一般工事		仕上およびユニット		家具		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
K-54	家庭科室 流し (SUS)	1	か所			
K-55	家庭科室 窓下収納	1	か所			
K-56	家庭科室 窓下収納	1	か所			
K-57	被服準備室 ミシン棚	1	か所			
K-58	被服準備室 アイロン棚	1	か所			
K-59	被服準備室 収納棚	1	か所			
K-60	被服準備室 背面収納棚	1	か所			
K-61	図工室 流し (SUS)	1	か所			
K-62	図工室 窓下収納	1	か所			
K-63	図工準備室 収納棚	1	か所			
K-64	理科室 壁面収納・掃除具入	1	か所			
K-65	理科室 壁面収納	1	か所			
K-66	理科室 窓下棚	1	か所			
K-67	理科室 窓下棚	1	か所			
K-68	理科準備室 収納戸棚	1	か所			
K-69	理科準備室 窓下戸棚・流し台 (SUS)	1	か所			
K-70	理科準備室 収納戸棚	1	か所			
K-71	男子WC2 手洗い	1	か所			
K-72	女子WC2 手洗い	1	か所			
K-73	男子WC1 手洗い	1	か所			





その他工事		解体		解体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
CB解体	A 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	4.2	m3			
基礎解体	A 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	3	m3			
フェンス・基礎解 体	B 砕石・境界ブロック・モルタル共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	4	m3			
フェンス・基礎解 体	C 砕石・境界ブロック・モルタル共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.5	m3			
フェンス・基礎解 体	D 砕石・CB共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.3	m3			
フェンス・基礎解 体	E 砕石・CB共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.2	m3			
フェンス・基礎解 体	F 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.3	m3			
フェンス・基礎解 体	G 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.3	m3			
フェンス・基礎解 体	H 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	1.2	m3			
バックネット・基 礎解体	I 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	18.9	m3			
U字溝解体	J 砕石・モルタル・樹・VP共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均					

その他工事		解体		解体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	4.1	m3			
U字溝解体	K 砕石・モルタル・樹・VP共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均 し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	17	m3			
ベンチ解体	M 機械器具損料・重機運搬費・重機運 転費・仮設材・分別・集積共	0.5	m3			
樹木類伐採伐根		1	式			
埋戻し(A種)	真砂土 購入土	58.2	m3			
発生材積込み	コンクリート類	53.9	m3			
発生材積込み	廃タイヤ	24.2	m3			
発生材積込み	金属くず	0.5	m3			
発生材積込み	樹木くず	4.6	m3			
発生材積込み	廃プラ類	0.1	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 コンクリート類	53.9	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 廃タイヤ	24.2	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 金属くず	1	台			
発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 樹木くず	4.6	m3			
発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 廃プラ類	1	台			
側溝モルタル詰め		5	か所			
計						

























一般工事		地業		既製コンクリート杭地業		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
材料費		1	式			別紙 00-0029
JP-NPH	L=8m φ 650-500 A種	30	本			
PHC 105N	L=8m φ 500 B種	30	本			
SC 105N	L=6m φ 500 SKK490 t=9	30	本			
JP-NPH	L=8m φ 650-500 A種	2	本			
PHC 105N	L=9m φ 500 B種	2	本			
SC 105N	L=6m φ 500 SKK490 t=9	2	本			
JP-NPH	L=8m φ 550-400 A種	45	本			
PHC 105N	L=8m φ 400 C種	45	本			
SC 105N	L=6m φ 400 SKK490 t=9	45	本			
JP-NPH	L=8m φ 550-400 A種	1	本			
PHC 105N	L=9m φ 400 C種	1	本			
SC 105N	L=6m φ 400 SKK490 t=9	1	本			
JP-NPH	L=8m φ 550-400 A種	2	本			
PHC 105N	L=8m φ 400 C種	2	本			
SC 105N	L=6m φ 400 SKK490 t=9	2	本			
JP-NPH	L=8m φ 500-400 A種	4	本			
PHC	L=8m φ 400 A種	4	本			
PHC	L=6m φ 400 B種	4	本			
JP-NPH	L=8m φ 500-400 A種	3	本			



一般工事		地業		既製コンクリート杭地業		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工費		1	式			別紙 00-0030
機械器具運搬費・ 組立解体費	三点支持式杭打機 1台	1	式			
掘削施工費 φ55 0	ヤットロ長さ81.3m含む	1,295	m			
掘削施工費 φ65 0	ヤットロ長さ48m含む	754	m			
バックホウ損料		28	日			
発電機損料		28	日			
サイロ運賃・仮設 費		1	基			
試験掘施工費		1	式			
技術管理費		1	式			
残土処分固化材		777	m <sup>3</sup>			
回転埋設用金具	回転金具 φ400	55	set			
回転埋設用金具	回転金具 φ500	32	set			
無溶接金具	φ400	110	個			
無溶接金具	φ500	64	個			
データ処理費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						



鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0015
(玄関屋根)						
(鋼材費)						
φ 318. 5x9	STK400	614	kg			
H-340x250x9x14	SS400	2, 912	kg			
H-250x125x6x9	SS400	1, 447	kg			
H-150x75x5x7	SS400	906	kg			
FB-9x25	曲げ加工	25	kg			
FB-9x25	SS400	29	kg			
PL-16	SN490C	40	kg			
PL-22	SN490C	19	kg			
PL-25	SN490C	61	kg			
PL-32	SN490C	234	kg			
PL-36	SN490C	88	kg			
PL-12	SN490B	31	kg			
PL-16	SS400	6	kg			
PL-6	SS400	140	kg			
PL-9	SS400	237	kg			
S. PL-9	SS400	66	kg			
S. PL-12	SS400	283	kg			

鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0015
スクラップ		228	kg			
HTB M16x40	F8T	24	kg			
HTB M20x55	F8T	6	kg			
HTB M20x60	F8T	38	kg			
HTB M20x70	F8T	80	kg			
BOLT M20x50	中ボルト 4T	3	kg			
A. BOLT M24	ABR400	22	kg			
TURNB-16		24	個			
FB-9×67		42	kg			
RB-16		159	kg			
(加工費)						
工作図費		7,178	kg			
工場加工費		7,178	kg			
建方費		7,178	kg			
建方重機費		7,178	kg			
現場加工費	合番・調整	7,178	kg			
運搬費		7,178	kg			
機械器具損料		7,178	kg			
消耗品		7,178	kg			

鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0015
工場管理費		1	式			
(設備架台)						
(鋼材費)						
[-150x75x6.5	SS400	1,735	kg			
スクラップ		58	kg			
A. BOLT M12	SS400	83	kg			
(加工費)						
工作図費		1,733	kg			
工場加工費		1,733	kg			
建方費		1,733	kg			
建方重機費		1,733	kg			
現場加工費		1,733	kg			
運搬費		1,733	kg			
機械器具損料		1,733	kg			
消耗品		1,733	kg			
工場管理費		1	式			
(目隠し下地)						
(鋼材費)						
□-125x125x6	STKR400	654	kg			

鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0015
□-100x100x4.5	STKR400	871	kg			
□-100x100x3.2	STKR400	97	kg			
C-100x50x20x2.3	SSC400	156	kg			
PL-16	SS400	87	kg			
PL-9	SS400	6	kg			
PL-6	SS400	89	kg			
スクラップ		64	kg			
BOLT M12x140	中ボルト 4T	92	kg			
BOLT M12x40	中ボルト 4T	116	kg			
A. BOLT M12	SS400	42	kg			
(加工費)						
工作図費		2,110	kg			
工場加工費		2,110	kg			
建方費		2,110	kg			
建方重機費		2,110	kg			
現場加工費		2,110	kg			
運搬費		2,110	kg			
機械器具損料		2,110	kg			
消耗品		2,110	kg			

鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0015
工場管理費		1	式			
(サッシ受け)						
(鋼材費)						
L-75×75×6	SS400	513	kg			
(加工費)						
工作図費		1	式			
工場加工費		488	kg			
錆止め塗装費		488	kg			
現場取付費		29.2	m			
運搬費		488				
機械器具損料		488	kg			
消耗品		488	kg			
工場管理費		1	式			
計						

鉄骨工事		鉄骨		鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
付帯工事		1	式			別紙 00-0016
(玄関庇)						
母屋工事	C100×50×2.3	1,980	kg			
アンカーセット		2	か所			
コンクリート打設前調整		2	か所			
テンプレート撤去		2	か所			
スタッドジベル	16φx100	12	本			
柱脚アンカー用窓孔加工		8	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	584	kg			
メッキ運搬費	往復	1	台			
(設備架台)						
アンカーセット		40	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	1,653	kg			
メッキ運搬費	往復	1	台			
テンプレート撤去		40	か所			
(目隠し下地)						
アンカーセット		10	か所			
スタッドジベル	16φx100	8	本			
溶融亜鉛メッキ	本体	1,870	kg			
メッキ運搬費	往復	1	台			







名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水替え費	ウェルポイント工法 ライザー打込み φ50L4m@1m ハッチャー配管φ100 真空 ポンプ9.2k 排水パイプφ150L5m/台 発電機・燃料費・機材運搬費共	1	式			
仮囲い	単管+防音シート H=3000 13か 月	55	m			
仮囲い	単管+メッシュシート H=3,000 1 .5か月	81.9	m			
仮囲い	防音パネル H=2000 13か月	120	m			
仮囲い	透明パネル H=2000 13か月	10.5	m			
仮囲い	化粧フラットパネル H=2000 13か 月	62.5	m			
仮囲い	単管+メッシュシート H=2000 9.5か月	47.4	m			
仮囲い	単管+メッシュシート H=2000 13か月	16	m			
仮設敷き鉄板	12.5か月	111	m <sup>2</sup>			
キャスターゲート	W6000 12.5か月	1	か所			
非破壊検査 杭頭 補強筋	自主	384	か所			
非破壊検査 杭頭 補強筋	第三者	1	式			別紙 00-0032
交通誘導員		280	人			
ラフテレーンクレ ーン	16 t	108	日			
化学物質濃度測定	6種類 8か所	1	式			
セメントミルク圧 縮試験費		12	set			
六価クロム溶出試 験		1	式			
溶接部試験	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0017
EV申請書類作成・ 完成検査・試験		1	式			









## 1 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。
- (5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

## 2 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
  - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
  - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。
- (5) 工事に使用する資材については、極力有害性VOC（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

## 3 工事の安全確保について

- (1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。
- (2) 労働安全衛生法第59条、第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

- (3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事務データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

#### 4 建設機械の使用について

- (1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。  
(2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

#### 5 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和42年法律第131号）の目的に鑑み、同法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

#### 6 ダンプトラック等、による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。  
(2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。  
(3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。  
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。  
(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。  
(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。  
(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。  
(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

#### 7 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

#### 8 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。  
(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
- (4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後 1 ヶ月以内に提出しなければならない。

## 9 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1 級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

## 10 労働基準法等の遵守

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週 40 時間を遵守すること。

## 11 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年 3 月鳥取県条例第 3 号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
- (2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

## 12 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

## 13 現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3 か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

#### 14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

#### 15 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

#### 16 契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

#### 17 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。
- (3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (5) 特定フロンの使用の削減に努めること。
- (6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。
- (7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。
- (8) 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底について（令和 3 年 1 月 13 日付契起第 9 4 3 号－1 米子市総務部長通知）に基づき、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

特記事項 [施工条件明示事項]

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明示事項	条件
<p>1 工程</p>	<p>1. 他工事との調整</p> <p>2. 施工時期、施工時間及び施工方法の制限</p> <p>3. 関係機関等との協議</p> <p>4. 工事の指定部分</p> <p>5. 地下埋設物等の調査</p> <p>地下埋設物の移設が予定されている場合。</p>	<p>工事名 啓成小学校校舎等改築機械設備工事                      啓成小学校校舎等改築電気設備工事                      啓成小学校ふれあい棟新築ほか建築主体工事                      啓成小学校プール改築建築主体工事                      啓成小学校マンホールトイレ設置工事(仮)</p> <p>上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。</p> <p>制限される工事 <input checked="" type="checkbox"/> 全般</p> <p>制限の内容 学校運営に支障が起きないように協力すること。</p> <p>本工事において、関係法令上必要あれば、関係機関と協議を行うこと。</p> <p>_____ については、                      令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日までに完成させること。</p> <p>工事に係る地下埋設物等の事前調査については、<input type="checkbox"/> [未調査]・(水道・下水道・電気通信・ガス・その他( ))について調査済み]である。                      事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道下水道・電気・通信・ガス・その他( ))であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。                      その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>_____</p> <p>移設期間 _____</p>
<p>2 用地</p>	<p>1. 工所用車輛の駐車場</p>	<p>・ 駐車場がないため確保する必要がある。                      ・ 敷地内に一部確保できる。  <input checked="" type="checkbox"/> 原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。</p>
<p>3 公害対策</p>	<p>1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限</p> <p>2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。</p>	<p>内 容 関係法令を遵守すること。</p> <p>_____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 近隣家屋等の <input checked="" type="checkbox"/> 事前事後の状況の写真を付して記録し、事後( )の調査を行い、万全を期して施工すること。  <input checked="" type="checkbox"/> 工事概要について住民説明を行うこと。  <input checked="" type="checkbox"/> 近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。</p>
<p>4 安全対策</p>	<p>1. 交通安全施設等の指定</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。                      交通誘導員A ____人 交替要員 ____人 1日あたり合計 ____人 配置日数 ____日                      工事全体合計 ____人・日                      交通誘導員B 280人 交替要員 0人 1日あたり合計 1人 配置日数 280日                      工事全体合計 280人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。                      交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。                      なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>

明示項目	明 示 事 項	条 件
<p>5 工事用道路</p>	<p>1. 一般道路を搬入路として使用する場合。                  ・(ア) 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等に制限がある場合。                  ・(イ) 搬入路の使用後及び使用後の処置が必要である場合。                  2. 仮道路を設置する場合</p>	<p>・運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。                  ・制限の内容                  工事用資機材等運搬による大型車両の出入は、登下校時間を極力避けること。                  ・処置の内容                  _____                  ・幅員 _____ m ・延長 _____ m ・切込砕石厚 _____ cm ・その他                  ・工事終了後の処置                  _____</p>
<p>6 仮設備</p>	<p>1. 仮囲い等の範囲、構造</p>	<p>・工事範囲をバリケード等により明確にすること。                  ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。                  ・山留めは _____ 工法とし、その施工条件は図示による。                  ・各工事共通の揚重機械として _____ を設置しその施工条件は図示による。                  ・敷地周辺の _____ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。                  ・その他労働安全衛生法に基づく仮設備</p>
<p>7 建設副産物の処理</p>	<p>1. 建設発生土の処理                  ・(ア)他工事等流用                  ・(イ)建設技術センター                  ・(ウ)民間残土受入地                  2. 分別解体等                  3. 再資源化施設への搬出                  (施設の名称・受入れ費用)                  (受入れ時間帯)                  (受入れ条件)                  4. 最終処理等                  5. 産業廃棄物処理                  6. 産業廃棄物の処理に係る税</p>	<p>建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。                  建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。                  なお、処理費として1m<sup>3</sup>当たり _____ 円をセンターに支払うこと。                  建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬(片道運搬距離 _____ km)するものとする。なお、処理費として1m<sup>3</sup>当たり _____ (税別)に支払うこと。                  民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300KN/m<sup>2</sup>以上)                  コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。                  コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。                  再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。                  なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。                  コンクリート塊 _____ 米子市・町・村 _____ 夜見町 地内の (株)大成商事 (運搬距離 5.2 km)、費用1t当たり 1,000 円                  アスファルト塊 _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1t当たり _____ 円                  建設発生木材 _____ 米子市・町・村 _____ 淀江町小波 地内の (株)丸福 (運搬距離 8.9 km)、費用1m<sup>3</sup>当たり 5,000 円                  その他( _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ (運搬距離 _____ km)、費用1m<sup>3</sup>当たり _____ 円                  8時～17時(平日)                  ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。                  イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。                  ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径 _____ cm以下、長さ _____ m以下であること。                  エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。                  _____ については、 _____ 市・町・村 _____ 地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離 _____ km)を想定し、その費用として1t当たり _____ 円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。                  産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。                  建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。                  産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、 1,200 円見込んでいる。</p>

明示項目	明 示 事 項	条 件
建設副産物の使用	<p>⑧ 1. 建設発生土の使用</p> <p>② 再生資源の使用</p>	<p>_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受け、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>ア Co雑材材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン〔規格：Rcc- 40〕は、使用箇所： 図示箇所 に使用する。</p> <p>・再生コンクリート砂〔規格：RS- _____〕は、使用箇所：_____ に使用する。</p> <p>エ 再生加熱アスファルト混合物〔規格： _____〕は、使用箇所： 図示箇所 に使用する。</p> <p>オ その他再生資材〔資材名： _____〕〔規格： _____〕は、使用箇所：_____ に使用する。</p>
9 支障物件	<p>1. 地上、地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。</p>	<p>移設・撤去 防護等の方法 _____ _____ _____</p>
10 濁処水理	<p>1. 排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合</p>	<p>工法 処理の方法 放流先</p>
その他	<p>⑪ ①. 工事実績情報の登録</p> <p>2. 支給材料及び貸与品がある場合</p> <p>3. 工사용電力等を指定する場合</p> <p>4. 景観への配慮</p> <p>⑤. その他</p>	<p>工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。</p> <p>品 名 _____ 数 量 _____ 品質、規格又は性能 _____ 引渡場所 _____ 引渡時期 _____</p> <p>内 容 _____</p> <p>ア 本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ 通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。</li> <li>・近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講ずること。</li> <li>・契約図書の作成は、落札者において行うこと。</li> <li>・アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。</li> <li>・当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和2年度営繕工事設計標準単価（令和3年3月改訂版）により算出しております。</li> <li>・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。</li> <li>・本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。</li> <li>・交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいます。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。）</li> <li>・他工事の工程及び仮設計画については、共通仮設図1～3（K-01図・K-02図・K-03図）を参考とすること。</li> </ul>

## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

### 1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。

### 2 感染拡大防止に向けた取組

#### (1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、緊急事態宣言が出された地域から新たに転入（通勤者を除く）した場合は、14日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛すること。ただし、転入前にPCR検査を受診し陰性であることが確認出来た場合には、その結果を事前に監督員等に報告したうえで、14日間の外出自粛は不要とする。なお、このPCR検査に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

#### (2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

#### (3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

##### ① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受取、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。

##### ② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

### 3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書(又は変更業務計画書)を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

### 4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、次のとおり対応すること。

#### (1) 工事等の関係者がPCR検査を受けた場合(検査結果が判明するまでの対応)

① 該当者が受注者側(現場代理人、主任技術者、監理技術者、照査技術者、担当技術者及び作業員(下請けを含む))の場合

ア 受注者は、速やかに発注者に報告する。

イ 発注者は、必要な安全対策を実施した上で即座に現場作業を停止させるとともに、全ての作業員を自宅待機とするよう受注者に要請する。(工事の場合)

② 該当者が発注者側(各監督員、調査職員及び監督補助員)の場合

ア 発注者は、速やかに受注者に連絡するとともに、該当者との濃厚接触者について自宅待機とするよう要請する。

イ 受注者は、濃厚接触者の有無について確認し、発注者に報告する。

#### (2) 工事等の関係者がPCR検査で陽性と確認された場合

① 該当者が受注者側の場合

ア 工事等を一時中止する。(中止期間は受発注者協議の上決定)

② 該当者が発注者側の場合

ア 受発注者で協議し、必要に応じて工事等を一時中止とする。(中止期間は受発注者協議の上決定)

### 5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長(以下「一時中止等」という。)の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

### 6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

# 3つの密を 避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密(密閉・密集・密接)」**を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

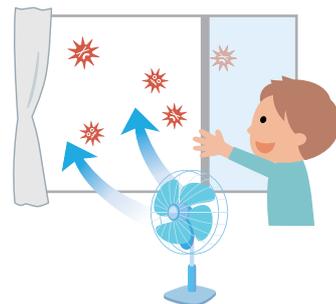


# ①「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

## 窓がある場合

- ・ 風の流れることができるよう、**2方向の窓を、1回、数分間程度、全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- ・ 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。



## 機械換気がある場合

- ・ 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。  
注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30m<sup>3</sup>)を確保するよう努めなければなりません。
- ・ したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- ・ しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- ・ 通常の家用的エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

## 乗り物の場合

- ・ 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- ・ 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。



## ②「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

• 他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（**2メートル以上**）を取りましょう。

• スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないように注意しましょう。

• 飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。

• エレベーターでは、多くの人々が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

• 職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html#hatarakukata](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata)



### ③ 「密接」した会話や発声は、避けましょう!

- 密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHOは「5分間の会話で1回の咳と同じくらいの飛まつ(約3,000個)が飛ぶ」と報告しています。
- 対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。
- エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話や、携帯電話による通話を慎みましょう**。
- 飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。  
注)「多人数」とは10人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。
- スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。
- 喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

